

編集後記

本号から少し体裁をあらためて八余滴／欄を設けた。会員諸氏の現在の関心のありどころを、研究ノートのような形で、少し自由に書いていただきたい。さらに、会員編著書紹介や彙報の欄を作って、会員や学会の活動を報告する場とした。今後は書評欄を作っては、と考えている。論文四編、余滴一編、年一回刊行の雑誌としては、少し論文が少なくて寂しい気がする。会員諸氏の積極的な投稿を期待します。

(小)

東海学園 言語・文学・文化

第二号 (通巻第六十一号)

平成十四年十二月 十日 印刷
平成十四年十二月二十日 発行 非売品

編集 名古屋市中平二丁目九〇一番地
発行 東海学園大学日本文化学会

代表 小林 幸夫

電話 (五)八〇一―二二〇一

振替 〇〇八三〇―五―二九三二二

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(有) イシグロ 高速印刷